



共生の時代

'12
2月

●発行:グリーンコープ共同理事会 ●編集:共生の時代・編集部 ●〒812-8561 福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号 カーニープレイス博多4階 TEL092(481)7923 FAX092(481)7876

グリーンコープの輪と未来



グリーンコープ産直米生産者

橋口 孝久 さん

1951年、鹿児島県生まれ。大学卒業後、地元で公立小中学校の講師を3年務め、就農。現在、かごしま合鴨米生産クラブ会長をはじめ、農業に関係する会の役職を兼務する。グリーンコープかごしま生協との取り引きは、1984年の前身生協時代から。妻と二人暮らし。二男二女の父。

「橋」有機農業で米や野菜を作り続けている。20数年前から地域の保育所や小学校の子どもたちが自然と触れあい、農業を体験できる「米作り体験田」や、グリーンコープかごしま生協組合員親子との産直交流会「コモコメ体験田」などを行っている。子どもたちの指先の不器用さなど、生活体験の少なさに気付いた橋口さんは、今の子どもたちには田んぼや畑での体験が必要だと実感するようになり、「米作り体験田」ということになりました。子どもたちは米作りを体験することで、田んぼや畑の中の食物連鎖が食べものを育んでいることや、作物が育つ意味を身体で覚える。参加する親からも毎回好評だ。毎年約2,500人の親子が訪れている。

橋口さんの生まれ育った出水市は水俣市に隣接し、身近に「水俣病」に苦しむ人々がいなかった。公害問題を二度と起こさないような技術を学ぶために、1980年、川上町の実家で、念願であった有機農業をはじめた。しかし、農薬や除草剤を使用しない米作りでは雑草や稗が大量に生え、手作業での除草は困難を極めた。1991年、先駆的に行われていた合鴨農法に出会い、約2haの水田で合鴨農法をはじめた。一人、また一人仲間が増えていった。

2000年、学校と親と農家が協力し、地域の小学校の5年生約100人が、合鴨農法の米作り体験学習を行った。田んぼで育った合鴨を食べるか食べないかで、子どもたちは激しく議論した。「この時、一生懸命『命』に向きあって、

最終的に、可愛がって育ててきた合鴨の最期を見届け、「命をいただく」ということになりました。羽をむしりながら涙を流す子どももいましたが、この時の「合鴨の命」と真剣に向きあった経験が、当時の子どもたちの中に今も生き続けています。「食のことから栄養に興味を持ち、管理栄養士をめざしている子、大学入試の小論文で『いただきますが食の危機を救う』というタイトルで当時のことを書いた子どもいます」と橋口さん。彼らが二十歳を迎えた時に書いてくれたというアンケートを読みながら感慨深げに話す。

「農業体験を通して、子どもたちや教育現場との関係などいろいろあるところに輪が広がっていききました。これから川上町の豊かな自然とこの地域の人々に支えられながら、子どもたちの体験の場を充実させていきたい」と橋口さんは静かに語った。

わが家では、息子たちの間で、びん牛乳にマスコパド糖の黒みつを入れて飲むのが流行っています。実はこれが2回目のブームで、一回目は長男がびん牛乳を飲みはじめた時で、現在は二男がそれを受け継いでいます。飲んでみると、とてもやさしい味で、息子たちが何杯でもおかわりしたくなるのがよく分かります。

グリーンコープの組合員になって、「一番良かったと感じていることは、本物のおいしい

さを味わうことができるということです。本物のおいしさとは、作っている人たちの「命を大切に思う気持ち」によって生み出されます。そのことを産直交流や学習会などを通して実感できるようにになりました。

2人の息子たちも、本物のおいしさとは何かということ、グリーンコープの食べものを通じて感じてもらうと、うれしいです。

グリーンコープ生協くまもと副理事長
沖仲 真理

送 信

グリーンコープ生協くまもと副理事長
沖仲 真理

グリーンコープ生協くまもと副理事長
沖仲 真理

農業で食と命を伝える

「さようなら原発1000万人署名」街頭署名に取り組んでいます



福岡市天神で署名活動を行い、脱原発をアピールしました

脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める全国署名(さようなら原発1000万人署名)を成功させ、今こそ原発のない社会をめざしましょう

第21回BMW技術全国交流会	
原点に戻る、BMW技術	2
うちのメーカー・うちの生産者⑩	
(株)マーナーコスメックスクリこま高原藤沢工場	3
ナチュラルアープ・プレゼンタ綾	
「互恵のためのアジア民衆基金」第二期定時社員総会	
南と北の共生ー助けあい支えあう	4・5
人と人との連帯はより強くより確かなものへ	
抱撲館福岡 第3回さすな祭	
新しい出会い 新しい「さすな」	6
2011年度タオルとメッセージを贈る取り組み (non-GMO牛乳生産者女性部会員懇親交歓会)	
9年目の産直びん牛乳	7
顔の見える関係を実感しました	
和牛肥後あか牛・楽しい産直の集い	
あか牛を食べて、阿蘇の草原を守ろう!	
りんごを食べて、みんなで生産者を応援しよう!	8

別紙にて、「放射能汚染と向きあう(放射能測定室より)シリーズ(5)被災地復興の今を掲載

わが家では、息子たちの間で、びん牛乳にマスコパド糖の黒みつを入れて飲むのが流行っています。実はこれが2回目のブームで、一回目は長男がびん牛乳を飲みはじめた時で、現在は二男がそれを受け継いでいます。飲んでみると、とてもやさしい味で、息子たちが何杯でもおかわりしたくなるのがよく分かります。

グリーンコープの組合員になって、「一番良かったと感じていることは、本物のおい

さを味わうことができるということです。本物のおいしさとは、作っている人たちの「命を大切に思う気持ち」によって生み出されます。そのことを産直交流や学習会などを通して実感できるようにになりました。

2人の息子たちも、本物のおいしさとは何かということ、グリーンコープの食べものを通じて感じてもらうと、うれしいです。

グリーンコープ生協くまもと副理事長
沖仲 真理

原点に戻る、BMW技術

技術と人の未来に向けて

第21回BMW技術全国交流会は、2011年11月28日・29日に全国のBMW技術を実践する生産者や団体、地域づくりをすすめる自治体などから、283人が参加して、福岡市で開催されました。今回の交流会は、BMW技術の普及に尽力した故兼重正次さん(当時グリーンコープ連合専務理事)の活動拠点だった九州で10年ぶりの開催となり、グリーンコープ生協ひろしま理事長の林和子さんが実行委員会の副委員長を務めました。また、東日本大震災とその後の原発事故で甚大な被害を被った東北地方の会員からの報告もありました。交流会の模様を報告します。



BMW技術は、20年以上にわたり全国で研究、実践がすすめられてきた。これにより、農業や化学肥料、抗生物質などを減らした農畜産を実現してきた。グリーンコープも、畜産や青果の生産者と連携してBMW技術に取り組んできた。21回目となる交流会は、「原点に戻って、改めてBMW技術を使った農業・畜産の良さをみんなで確認しよう」とをメインテーマに、若い世代へのBMW技術の継承・普及、大震災や原発事故で被害に遭った会員の復興にかける思いをサブテーマに開催された。

BMW技術協会理事長の伊藤幸蔵さんによる基調報告では、東日本大震災で被災した会員の被害状況や救済物資を届けたり炊き出しの支援を行ったこと、代表を務める米沢郷牧場(山形県)のようすなどが報告された。

その後、被災地からの報告に続き、BMW技術を実践する生産者や、地域づくりをすすめる団体などから、日ごろの取り組みのようすが発表された。

生産者のチャレンジ・実践 紅会(産直豚肉生産者)

井手剛寛さん

メンバーの井上ビッグファームでは、自前のプラントを使って豚の糞尿を処理し、生物活性水や堆肥を作っている。豚の健康のため、BMW飲水改善プラントを通した地下水を飲ませ、放牧や豚舎の工夫で、豚はいきいきと育っている。また、糸島BMW農法研究会の平野さんは、自ら栽培に紅会のBMW堆肥や生物活性水を活用している。

(有)ヨコテ(産直たまご生産者) 横手俊郎さん

生物活性水のプラントを自分で工夫しながら手作りし、改良を重ねている。発酵鶏糞

糞を利用して作った生物活性水は、鶏の病気に負けない体づくりに役立つ。今後いろいろなことを試していきたい。

熊本県愛農会野菜部(産直青果生産者) 渡辺洋一さん

同じ地域の清村養豚場の生物活性水や堆肥を使って有機栽培している。土がとてもしっとり。苗の生育やほかし肥料の発酵が早くなつたなどの効果があった。しかしあまり効果が見られなかったものもあり、これからいろいろ経験してBMW技術を身につけていきたい。

糸島BMW農法研究会(産直青果生産者) 柴田周作さん

自宅のトイレの糞尿から生物活性水を作るプラントを自宅敷地内に作り、堆肥づくり、BMW発酵ぼかしづくり、栽培に活用している。土作りから栽培中の散布などすべての過程で生物活性水に触れさせておくことが、元気の野菜を作ることにつながるようだ。

米沢郷牧場(産直青果生産者) 横山裕一さん

さくらんぼ、ラ・フランス、りんごについて生物活性水を使用したものと使用しなかったものを比較栽培した。

地域の拠点として 夢産地とさやま開発公社 大崎裕一さん

2005年高知市と合併した旧土佐山村地区は、高知市を貫く清流・鏡川の源流域に位置し、水源や森林の重要性から、地域の人々の暮らしが見直されている。「土佐山百年構想」として、教え教わる学習の村をめざした「社会学」を中心とした町づくりをしている。

南阿蘇村役場 工藤眞巳さん

南阿蘇村は、3つの村が合併する際にあえて「村」を選んだ。「有機農業のむらづくり」に取り組んでいる。村営のBMW堆肥センターを運営し、村の耕種農家に販売している。今後はこの堆肥とBMW技術の認知度を上げていきたい。生物活性水も無料配布する計画だ。

未来に向けて 農業生産法人hototo 水上篤さん

山梨県で「持続可能な風景をつくる」を経営理念に、農業をしている。昨年BMW技術に出会い、生物活性水プラントを作った。ぶどうやミニトマトなどでさまざまな栽培実験をした。耐病性がよくなる、糖度が上がるなどが期待できそうだ。BMW技術を活用し、無農薬栽培をめざしたい。

山梨大学大学院医工総合 御園生拓さん

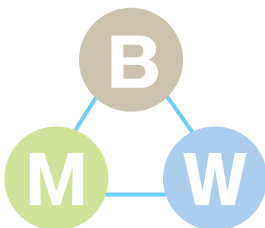
クロレラの大量培養を生物活性水で行い、それを畜産飼料にして循環させている。また、バイオマスや太陽光発電、小水力発電なども組み合わせて広い意味での再生可能エネルギーとしてすすめていきたい。エネルギーを大量に使う経済活動や生活を何とかしたいという思いで取り組んでいる。

暮しの場から グリーンコープ共同 林和子さん (ひろしま理事長)

グリーンコープは、取り扱っている生物活性水とB2M菌体の利用実態の把握と利用普及に役立てることを目的に、組合員にアンケートを実施。結果について組合員の視点で報告する(結果については次号で掲載予定)

※1 BMW技術によって作られた水。動物物を支えている微生物の環境を整え、動物本来の力を引き出し、いやなにおいを抑え、健康な生育に役立つ生ごみを処理して土に戻すために使う

第21回 BMW技術 全国交流会



2011年11月28日・29日 福岡市 主催 一般社団法人BMW技術協会

BMW技術とは
自然の浄化の仕組みに学び、バクテリア(B)の力でミネラル(M)バランスにすぐれた水(ウォーター・W)を作り出す技術のこと

深い傷を抱えながら、立ち上がりつつある被災地

あいコープみやぎ 小野瀬裕義さん
みやぎBM技術協会 西塚忠元さん
会津うまいもの塾 佐藤邦夫さん

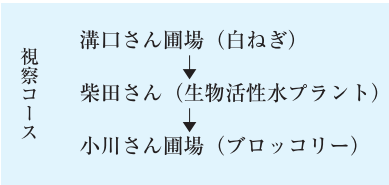
宮城県の被災状況は、死者・不明者が1万人以上。地震、津波、原発事故による放射能汚染など、想像を絶する状況だった。西塚さんのグループも5人全員の農地が浸水。農地には、農機具や資材など膨大な瓦礫が流れ込み、地割れによる液状化、パイプラインの破損などダメージは大きい。県の復興計画がすすまず、農家は農業計画を立てることができない状況だ。あいコープみやぎも生活に必要なものだけを扱うなど経営をスリム化している。その上で、第一次産業の復興に取り組んでいくという方針だ。

会津からの報告では、地震による大きな被害はなかったものの、放射能汚染の風評被害が深刻だ。メンバー全員の土壌、肥料、堆肥や農作物の検査をしている。今後は試行錯誤しながら、除染や作物に放射能を吸収させない対策を講じていくことになる。

「地域での助けあいやBMW技術協会、グリーンコープからの迅速な支援など、人と人のつながりの貴重さを本当に実感している。今後も息の長い支援をお願いしたい」と小野瀬さんは報告を結んだ。

糸島BMW農法研究会視察のようす

交流会後、参加者たちは4つのコースに分かれて生産者やグリーンコープの物流センターの視察をしました。糸島BMW農法研究会の視察の模様を報告します。



柴田さんのプラントを視察するようす

溝口さんや小川さんの圃場では、栽培方法、BMW堆肥や活性水の与え方などを聞き、また参加者同士、栽培方法などの情報交換が活発に行われていました。

柴田さんは、自宅のトイレの糞尿をBMW技術で生物活性水に変えるために、プラントを作りました。参加者からは質問と同時に改良のアドバイスなども出ました。

視察参加者と糸島BMW研究会のメンバーは互いの情報を交換し、刺激のある視察になりました。

APLAフィリピンデスク 大橋成子さん

BMW技術協会 秋山澄見さん

フィリピン・ネグロス島の若者の農業研修施設「カネシゲファーム・ルーラル・キャンパス」では、豚舎の糞尿排水から生物活性水を作っている。それを飲水改善して豚や鶏に飲ませている。豚は病気にならず太りも良いので近隣では評判になっている。魚の養殖、野菜生産にも生物活性水を活用している。

暮しの場から

グリーンコープ共同 林和子さん

グリーンコープは、取り扱っている生物活性水とB2M菌体の利用実態の把握と利用普及に役立てることを目的に、組合員にアンケートを実施。結果について組合員の視点で報告する(結果については次号で掲載予定)

※1 BMW技術によって作られた水。動物物を支えている微生物の環境を整え、動物本来の力を引き出し、いやなにおいを抑え、健康な生育に役立つ生ごみを処理して土に戻すために使う

※2

うちのメーカー

116 岩手県東磐井郡藤沢町 (株)マーナーコスメチックス くりこま高原藤沢工場

うちの生産者

清涼な水と空気の中で、真心を込めて

ナチュラルアープ プラセンタ綾



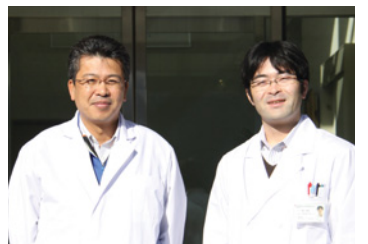
プラセンタ綾

アクアエッセンティエ

ナチュラルアープ

グリーンコープのプライベートブランドの化粧品を作っている(株)マーナーコスメチックス。その工場の一つ岩手県にあるくりこま高原藤沢工場は、周りを小高い山に囲まれ、すぐ脇には毎年鮭が溯上する北上川の支流が流れる豊かな自然の中にある。基礎化粧品のみナチュラルアープやゆめプラセンタ綾はそこで作られている。

くりこま高原藤沢工場代表理事 佐藤善治さん、工場長の小野寺久人さん、品質管理部 課長代理の鈴木隆司さんに話を聞いた。



左から工場長の小野寺久人さん、品質管理部 課長代理の鈴木隆司さん

化粧品に使われている防腐剤などの添加物が問題になってきた1984年頃、グリーンコープの前身生協の組合員は、安心して使える基礎化粧品が是非欲しいと検討を重ねた。そして、天然油脂をベースに鉱物油・石油系合成界面活性剤・合成着色料・合成防腐剤・合成香料を使わない基礎化粧品を開発したいと考えた。しかし、合成防腐剤や石油系合成界面活性剤や石油などが入ると、衛生面や技術面で高度な技術や設備が必要不可欠なことから、なかなか製造に際しては、メーカーがない。そうした中で1985年、(株)マーナーコスメチックスの社長(現会長) 井田博久さんが、製造を引き受けてくれた。「井田社長は、自身の病気の経験から、漢方生薬のよさを実感し、漢方生薬を使った基礎化粧品を開発していました。メーカーとして健康や安全性に対する志向は、当時から大きくありました」と佐藤さんは話

安全で安心な基礎化粧品が欲しい

1986年、高価な原料は使用せず、肌年齢のキープに効果のあるハーブを使用し、利用しやすい価格帯の基礎化粧品が開発された。1988年のグリーンコープ設立後も改良を重ね、1995年、商品名がナチュラルアープとなり、長く多くの組合員に愛用されてきた。

グリーンコープ生協おおいによるリニューアル

2011年10月、15年間組合員に支持されてきたナチュラルアープが、利用しやすい価格帯とコンセプトは変えずに、いっそうよいものになって登場した。ハーブエキスは、古くから効果や作用が知られている13種類のオーガニック認証を得ているハーブから抽出したエキス(スイカズラ葉エキスなど)3種類は自社

抽出)を厳選。「内容をグレードアップした上に、利用しやすい価格はそのままです。家族で気軽に愛用できる商品です」とリニューアルに携わったおおいの組合員。①外箱や緩衝材をなくし、商品をシュリンク包装にした。②樹脂容器に変更し、軽量化や利便性を向上。③説明は容器に記載し、説明書を廃止するなどして価格を抑えた。組合員やメーカーなどのアイデアと努力によって改善することができた。

人を大切に作る社風

くりこま高原藤沢工場は1996年に建設された。清涼な水が豊富にあり、自然に恵まれていること、地盤がしっかりとれていることなどから立地に選ばれた。3月の東日本大震災の際も、工場は大きな被害を受けずにすんでいる。

工場の内部は清掃が行き届き、清潔さが保たれている。社員食堂の壁には、「笑顔を忘れない、積極的に、堂々と製品をもって、常に新しく(創造を第一に人間として成長し)、充実した人生を(獲得して)送る」などの言葉が掲げられており、朝礼で唱和されている。常に人間としての内面に問いかける社風が伺える。「現在、ここで働いている人は55人。ほとんどが地元の女性で正規雇用です。産休など福利厚生もしっかりしているの、辞める人は少ないですよ。地元では厚い信頼を得ています」と小野寺さんは自信を持って話す。人を大切に作る社風は、誠実な商品を製造する根底になっ

丁寧に真心を込めて

(株)マーナーコスメチックスでは、嗜好の多様化に応じて多品種、少ない量の生産にも対応している。グリーンコープの商品もオートメーション化はしにくい量容器への充てん、包装など多くが手作業だ。その分、熟練した職員の丁寧で誠実な作業が求められる。静かなクリーンルームでは、女性たちが真剣なまなざしで、一つひとつ慎重に取り扱っている。「グリーンコープの商品は、パラベンを使用していないから、衛生面では特に注意をしています。化粧品の品質は、色や香り、使用感など、数字には表れないものも大切です。五感を研ぎ澄ませて、チェックする必要がありません」と鈴木さん。検査室では製品の品質、出来上がりなどが検査され、最終的には肌に付けて、使用感が試されている。

ゆめプラセンタ綾の登場

2010年9月に登場したゆめプラセンタ綾もこの工場で作られている。グリーンコープ生協みやぎが、宮崎県にある産直生産者グループ綾豚会の母豚の胎盤を活用して開発した。グリーンコープのプライベートブランドの化粧品の中でも画期的な商品だ。開発には2年の期間を要し、その間には口蹄疫問題も発生したが、綾豚会の産直豚を生かしたいという組合員の思いは揺るがなかった。胎盤から抽出されるエキスはプラセンタエキスと言われ、細胞の代謝を活性化させる作用やメラニン生成抑制作用、保湿作用、血行促進作用、活性酸素除去作用などがあることで知られている。プラセンタに関しては世界でも屈指の技術を持つと言われているスノーデン(株)が、豚の胎盤からのエキスの抽出を行っている。

「酵素を使った分解方法で、時間をかけて丁寧にエキスを抽出しています。大変良質な胎盤ですから、高品質で高濃度のプラセンタエキスを抽出することができています」とスノーデン社の大石さん。そのエキスを原液のまま商品化しているのがゆめプラセンタ綾だ。品質を保つためにプラセンタエキスは、スノーデン社からくりこま高原藤沢工場へは、外気を遮断した密閉容器に入れて運ばれ、工場では、製品化するまで5℃で保管。製品化する時も衛生面には細心の注意が払われている。製品に使われている容器は、使用中でもできるだけ空気に触れないようにエアレス容器(外気の侵入を予防する)を採用した。組合員の思い、産直生産者の協力、各メーカーの努力によって、肌の柔軟性を保ち、はりやうるおいなどを与えるエイジングケア化粧品が誕生した。

グリーンコープの組合員の思いにあふれた基礎化粧品が東北の地の誠実な人たちの手によって、心を込めて作られている。 ※グリーンコープが企画・販売する独自の商品。ゆめのマークが商品名に付いている

ナチュラルアープ ミルクローションができるまで

使用されている13種類のハーブエキス アルテア根・カミツレ・セイヨウハッカ葉・セージ葉・タチジャコウソウ・チャ葉・トウキンセンカ花・ラバンダー・オルトシホンスタミネウス・ローズマリー・ドクダミ・スイカズラ葉・ヨクイニン

① 真空乳化釜



真空釜の中にあるタービンを高速回転させることで、水と油である原料を乳化させる

② 容器への充てん



製造した乳液は、ステンレス容器に取り出され、検査を受け、安定化させてから一つひとつ手作業で容器に充てんする。乳液であれば通常一日約5000本までを製造

③ 包装



エアを掛けてほこりなどを取り、シュリンク包装する。包装などを丁寧に点検する

助けあい支えあう

連帯はより強くより確かなものへ

パプア州の州都ジャヤブラの丘の上から望むヨテファ湾

2011年11月18日〜19日、インドネシア共和国のスラバヤで、「互恵のためのアジア民衆基金（以下、基金）」の会員団体交流報告会と第二期定時社員総会が開催されました。現地インドネシアをはじめ、民衆取引の原点であるフィリピン（ネグロス・北部ルソン）、東ティモール、パキスタン、パレスチナ、マレーシア、そして韓国や日本から約50人が集いました。グリーンコープからは単協理事長・副理事長など10人が参加しました。

総会終了後、グリーンコープからの参加者を含む基金のメンバー35人が同国のパプア州を訪問し、自立に向けて取り組む先住民の人々と出会いました。そのようすも併せて報告します。

「民衆基金」社員団体 (2011年11月19日現在)

インドネシア)	生活協同組合連合会グリーンコープ連合
生活協同組合)	グリーンコープ 14単協
ド・インドネシア)	生活クラブ事業連合生活協同組合連合会
ティ発展財団)	バルシステム生活協同組合連合会
る”研究所)	株式会社大地を守る会
ジネスグループ)	特定非営利活動法人APLA
委員会)	株式会社オルター・トレード・ジャパン
委員会)	特定非営利活動法人日本消費者連盟
	特定非営利活動法人日本ファイバーリサイクル連帯協議会
	生活協同組合連合会きらり
	新潟県総合生活協同組合

を受けている団体からの報告



トニエッタ・トスさん
として融資

ATFI (フィリピン)

ネグロス・フェアトレード協会(N OFTA)による手形の現金化サービス事業を行っている。



ヒルダ・カダヤさん

手形の現金化の資金として融資を受けている。このサービスがはじまったことで、生産者はサトウキビの代金として受け取る手形を、遠方のバコロド市にある銀行まで出かけることなく、近くで低額の手数料で現金化できるようになった。活発に利用されている。

IAWC (パレスチナ)

リーブ油生産者生活改善をめざして支援している。



オマール・タバクさん

油施設・農産物加工施設の建設資金として融資を受けている。融資によって施設建設のための地が購入できた。現在、建築申請の回答を待っている。

ATINA (インドネシア)

ATINAの従業員の生活向上をめざしている。



アグネス・ウィボオさん

従業員組織ロストラムによる生活用品の共同購入活動と会員を対象とした小規模の融資事業の資金として融資を受けている。小規模融資は、教育費や住宅建設費用として多く利用されている。

請が予定される団体からの報告

ACOS (マレーシア)

産者がパームを直接販売することで自立できるように支援している。



フィリップ・チンさん

数民族のパーム油生産者約30人で組合をつくり、製油場設立に向けて準備をすすめている。

AI-Khair (パキスタン)

スラム地区に住む子どもたちの教育と自立を支援している。



ムハマド・ムザヒルさん

融資を受けることができたなら、カラチ市内のスラム地区にある業業施設にガス窯を導入し、品質の安定した植木鉢や陶板を国内、海外市場向けに生産したい。

25年におよぶネグロスとの連帯は、インドネシアのエコシュリンプ、パレスチナのオリブオイル、東ティモールのコーヒーなど、民衆取引という形でアジアに広がり、同時に人と人との交流も深まっていた。

2009年10月、世界全体に広がる深刻な経済危機を、南の民衆と北の市民の連帯によって乗り越えよ

11年11月19日現在、37の団体が参加している。

順調に事業をすすめている団体がある一方、C O R

11月18日、第二期定時社員総会に先がけて、前日に会員団体交流報告会が開かれた。「各団体の報告時間が足りない」「参加者同士の意見交換の場もあればよかった」という昨年の反省を受けて設けられ、現在融資を受けている団体のほか、今後融資の申請が予定されている団体からも報告が行われた。

翌19日は午前中の2011年度第1回理事会に続く

南の民衆と北の市民が心を一つにする



グリーンコープの参加者も積極的に質問や意見を出した

今回の総会は、ホスト国の参加団体ATINAがその準備・運営を担った。平均年齢30代の若いメンバーが一丸となって持てる力を発揮し、総会を成功へと導いた。彼らの心尽くしのもとでは、言葉の壁を越えて参加者全員の気持ちを一つにした。一年に一度集う意義を参加者一人ひとりが実感できた総会となった。

1980年代後半、世界的な砂糖価格の大暴落により飢餓に陥ったフィリピンのネグロス島。飢餓救済の緊急支援をきっかけにはじまったマスコバド糖とネグロスバナナの民衆取引は、ネグロスの人々の自立への闘いを応援する取り組みでもあった。

その目的は、これまでの北と南との「線」の関係から、アジアの国々が広く網を形成し、互いに助けあいを支えあう関係に発展させていくこと。そして民衆取引を成長・発展させ、南の民衆の経済的自立のために、北の市民が民衆取引の商品を利用することで基金に寄付し、それを必要とする団体に基金が低金利で融資するという事業をつくることである。南と北の新しい連帯・交流の形として、20

11月18日、第二期定時社員総会に先がけて、前日に会員団体交流報告会が開かれた。「各団体の報告時間が足りない」「参加者同士の意見交換の場もあればよかった」という昨年の反省を受けて設けられ、現在融資を受けている団体のほか、今後融資の申請が予定されている団体からも報告が行われた。

DE Vの椎茸栽培など、融資を受けた資金を事業の中でうまく生かされずにいるようすが報告されると「応援したいという気持ちと同時に心配でもある」と率直な意見も出された。それを受けて、基金副会長の行岡良治さん(グリーンコープ共同体制顧問)が「国や地域によって困っていかなくてはならない場面や風景は違うが、どの団体も自分たちをかたちづくるように模索している段階であり、寄り添って連帯していききたい」と応答した。質問や意見を活発に交わすことにより、お互いの状況を十分に共有できた。

午後から第二期定時社員総会が開催された。現地ATINAのハリ・ユリ・スサントさんが歓迎の挨拶をした後、基金会長の藤田和芳さん(大地を守る会代表)が次のように開会の挨拶を述べた。「まず、3月11日に日本で起きた大震災に対して、皆様から義援金やバナナを届けていただくなど、多大な支援、励ましをもらった。この場を借りてお礼申し上げる。パレスチナではイスラエルによる占領が続き、パキスタンでは大洪水が起き、ヨーロッパではギリシャをはじめとする金融不安が広がるなど、厳しい情勢が続いている。本日この場にいる仲間たちは、それぞれに困難な状況乗り越えて遅し

き、午後から第二期定時社員総会が開催された。現地ATINAのハリ・ユリ・スサントさんが歓迎の挨拶をした後、基金会長の藤田和芳さん(大地を守る会代表)が次のように開会の挨拶を述べた。「まず、3月11日に日本で起きた大震災に対して、皆様から義援金やバナナを届けていただくなど、多大な支援、励ましをもらった。この場を借りてお礼申し上げる。パレスチナではイスラエルによる占領が続き、パキスタンでは大洪水が起き、ヨーロッパではギリシャをはじめとする金融不安が広がるなど、厳しい情勢が続いている。本日この場にいる仲間たちは、それぞれに困難な状況乗り越えて遅し

「互恵のためのアジア民衆基金」会員団体交流報告会および第二期定時社員総会報告

今年も集うことができた仲間たち



インドネシアの装いで開会宣言を行うATINAメンバー

き、午後から第二期定時社員総会が開催された。現地ATINAのハリ・ユリ・スサントさんが歓迎の挨拶をした後、基金会長の藤田和芳さん(大地を守る会代表)が次のように開会の挨拶を述べた。「まず、3月11日に日本で起きた大震災に対して、皆様から義援金やバナナを届けていただくなど、多大な支援、励ましをもらった。この場を借りてお礼申し上げる。パレスチナではイスラエルによる占領が続き、パキスタンでは大洪水が起き、ヨーロッパではギリシャをはじめとする金融不安が広がるなど、厳しい情勢が続いている。本日この場にいる仲間たちは、それぞれに困難な状況乗り越えて遅し

き、午後から第二期定時社員総会が開催された。現地ATINAのハリ・ユリ・スサントさんが歓迎の挨拶をした後、基金会長の藤田和芳さん(大地を守る会代表)が次のように開会の挨拶を述べた。「まず、3月11日に日本で起きた大震災に対して、皆様から義援金やバナナを届けていただくなど、多大な支援、励ましをもらった。この場を借りてお礼申し上げる。パレスチナではイスラエルによる占領が続き、パキスタンでは大洪水が起き、ヨーロッパではギリシャをはじめとする金融不安が広がるなど、厳しい情勢が続いている。本日この場にいる仲間たちは、それぞれに困難な状況乗り越えて遅し



「互恵のためのアジア民衆基金」 Asian People's Fund for Mutual Benefit 第二期定時社員総会

南と北の共生ーI

人と人との



「互恵のためのアジア

フィリピン	ATC (株式会社オルター・トレード) ATFI (オルター・トレード財団) CORDEV (農村発展のための) AVDFI (アッパー・溪谷開発財)
インドネシア	ATINA (株式会社オルター・トレード) YPMD (パプア農村コミュニ)
東ティモール	KSI (〃泉湧き出でて大河とな
パキスタン	AI-Khair (アル・カイール・ビ)
パレスチナ	PARC (パレスチナ農業復興) UAWC (パレスチナ農業開発)
マレーシア	PACOS (パコス財団)
韓国	株式会社ドゥン生協連合会 社団法人ハンサリム

現在融資

KSI (東ティモール)

協同組合による淡水魚養殖事業と、地鶏生産・販売事業を支援している。

養殖事業・養鶏事業をすすめる資金を受けている。事業を開始した当初に見舞われた養足や鶏の病死などのアクシデントも服し良い方向に向かいつつある。雇より、家族の近くで仕事ができるよことを組合員は喜んでいる。

PARC (パレスチナ)

デザート(なつめやし)の加工・販売などを通して、農業生産者を支援している。

デザート加工工場の設備改善のための資金として融資を受けている。工場の敷地内に事務所を建設したほか、道路の補修や自家発電設備を設置することができた。

今後融資申請

YPMD (インドネシア)

カカオによるパプア先住民の自立をめざし支援している。

パプアで生産されたカカオ豆を現地で第一次加工(発酵・乾燥)し、ジャワでさらに加工して日本に輸出するカカオプロジェクトに挑戦している。先住民の意識向上や雇用の創出をめざす。

パプア(インドネシア共和国) パプア州・西パプア州)の略史

- 16世紀 オランダが入植開始
- 1884年 東西分割
西部をオランダが、東北部をドイツが、東南部をオーストラリアが占領
- 1942年 日本による占領(～1944年4月)
- 1946年 オランダが再度占領
- 1963年 オランダがインドネシアに統治権を譲与
インドネシア国軍による実質統治が行われ、先住民の抵抗運動「自由パプア運動」誕生
その後、国軍と抵抗運動との衝突が絶えない
- 1969年 正式にインドネシアへの併合決定
- 2000年 州名をパプアに変更
- 2001年 パプア州特別自治法発布
- 2003年 パプア州分割。西パプア州の誕生

*特別自治法とは
パプアの天然資源から得られる収入の70%を、現地のパプア州に還元するという法律。
しかし現状は、その資金がパプアの民衆のために適切に使われず、役人や開発業者へ流れているとされている

2011年11月20日～23日

パプア州交流訪問報告

カカオが結ぶ絆

パプアに生きる人々との出会い



開発の陰で追われる先住民
パプア州は、インドネシア共和国の東の端に位置する。住民の半数は古くからの先住民であり、独自の文化や生活習慣もみられる。木材をはじめ、石油や天然ガス、鉱物などの天然資源に恵まれる土地だが、それゆえに植民地としての歴史が長く続いた。現在も国内外の大企業による広大なヤシ農園や鉱山開発が展開されている。一方、資源の本来の所有者である先住民は、開発の恩恵を受けるところか、先祖から受け継いだ土地や伝統的な生活の基盤を失いかけています。

カカオによる自立をめざして

カカオは、1940年代にオランダによってパプアに導入されたと言われる。生活を営んでいくための換金作物として広く栽培されるようになり、現在も先住民の重要な収入源となっている。



ヤニム村のカカオ生産者。彼女の畑には母親から贈られたカカオの木がある

しかし収穫されたカカオはジャワやマカッサルに渡り、「ジャワ産」「マカッサル産」カカオとして海外に輸出される。栽培がはじまって60年以上経つ今も、パプアの先住民はカカオを栽培するだけで、その先を知らないまま安価で買い取られている。



民族衣装を着て訪問団を歓迎するアルソの女性たち

YPMDは、まずパプアの人々にカカオがチョコレートになるまでを実感してもらおうと、ジャヤブラ東のヤニム村にカカオの一次加工場を建設した。そこでは収穫したカカオを集め、外殻を取り除き、豆を発酵・乾燥するという工程が行われる。



ヤニム村にあるカカオの一次加工場



カカオの実の中には、ぎっしりと豆が詰まっている



ヤニム村の加工場では、取り出した豆を4日間木箱で発酵させ、その後乾燥させる

※インドネシア国立コーヒーカカオ研究所

パプア生まれのチョコレートをつくらう

YPMDが中心となったカカオプロジェクトはまだ踏み出したばかりである。当面の課題は、品質の安定したカカオを生産すること。そのためには生産者の意識向上や人材の育成が求められる。YPMDの熱い情熱によって、パプアの人々の心は自立に向けて動きはじめた。パプア産カカオで作ったパプア生まれのチョコレートが届く日も遠くないかもしれない。

今回の訪問をきっかけに

11月21日、互恵のためのアジア民衆基金の訪問メンバーはヤニム村を訪問した。州都から車に揺られて3時間余り、村に到着すると、広場に集まったたくさんの村人に迎えられた。村の中心に建てられたカカオの加工場は、とても小さな建物だった。しかし自分たちが育てたカカオが姿を変えていくようすを目の当たりにすることは、村の人々にとって自立への大きな前進だ。歓迎の集会では、YPMD代表のデッキーさんが「今日来てくれた友人たちと私たちの関係は、人と人との関係。文化や言語は違っても身体の中に流れる血の色は同じ。私たちは約束したことをやり遂げなければいけない。品質の良いカカオを作ろう」と、村人に呼びかけた。

デッキー・マルペンさん

政府や外国資本のパームやしの畑が延々と続く。政府の収入源を守るため、国軍が多数駐屯している緊張地域である。国軍による先住民の弾圧も絶えない。今回の訪問は、県知事のほかに、兵士や警察官が多数同行することやつと実現できた。まずウエンピ村のカカオ畑を見学後、アルソ町に移動し、交流会が行われた。県知事は集まったカカオ生産者に向けて、今後相談の場を設けてYPMDの取り組みに協力していきたいと述べた。「互恵のためのアジア民衆基金」の訪問をきっかけに、YPMDの取り組みが今後大きく前進していくことを、その場に集う全員が予感した。

新しい出会い 新しい「きずな」

ほうほくかん
抱樸館福岡
第3回きずな祭
2011年11月19日(土)

「抱樸館福岡」は、仕事・住まい・人との絆を失った人々の自立を支援するための施設です。物理的な「ハウス」であると同時に、入居者と地域の人たちとつながる「ホーム」となることを願い2010年5月に開所されました。

今回3回目を迎える「きずな祭」は、抱樸館福岡の入居者、卒業した人、スタッフ、地域住民が集まり、お互いの絆を確かめあう機会となりました。きずな祭のようすを紹介いたします。

※社会福祉法人グリーンコープが運営する第2種社会福祉事業、無料低額宿泊施設



参加者みんなで第4回きずな祭での再会を約束しました



抱樸館福岡館長
青木康二さん

2010年5月に開所してから今まで、抱樸館福岡の利用者は332人を数えます。今回、多の津5丁目町内会のみなさん、津屋本町公民館・多々良公民館のみなさんなど、たくさんの方にご協力いただきました。今日のカレーのご飯は、多々良公民館館長の光安さんが作られたお米です。その他にも、絵手紙などの展示、日舞などの出しもの、そして福岡女学院看護大学のサークルによる健康相談と、たくさんの方にご協力いただいています。北九州と下関のホームレス支援機構の仲間も応援に来ています。今日のこの場が、新しい出会いを確認する楽しい場所になってほしいと思います。たくさん食べて、たくさん楽しんでください。



社会福祉法人グリーンコープ副理事長
NPO法人北九州ホームレス支援機構理事長
奥田知志さん

閉会挨拶

抱樸館福岡の構想から5年、いろんな苦労があつて、やっと2010年5月に開所にこぎつけました。一番力になってくださったのはこの地域のみなさんです。ホームレスになる人は、不安定な世の中で自分ひとりの力ではどうにもできず、野宿となつてしまふ心細い中におかれてしまふ。だから社会は「自己責任」だから助けなくていい、だから誰もかわらない、と

閉所の時に地域のみなさんが「抱樸館福岡が入居者のふるさとになるなら、桜の木が必要だ」と贈ってくださった桜が、翌年3輪ほど花を咲かせました。今日私が感じるのは、既存の関係が崩れていると言われている今の社会には、まだまだ新たに人と人とのかわりを作れる余地があるということだと思います。新しい出会い、新しい「きずな」、新しい意味でのふるさとをこれからもつくりたいと思います。今の社会をどう変えていくか、抱樸館福岡は挑戦していきたいと思ひます。

第3回きずな祭 3つのテーマ

- ①「きずな」で結ばれている
わたしたちは決してひとりではない、たくさんの仲間がいるということを確認する場にしたい。
- ②出会いの場
人は自分を想ってくれる誰かがいて自分を大事に思えるし、人生にも前向きになれる。入居者、卒業した人、スタッフ、地域の方、一人ひとりの人間が出会い、語り、関係が生まれる、そんな出会いの場にしたい。
- ③主体的に参加できるお祭り
きずな祭は、誰かが一方的に提供するものではなく、ともに悩み、考え、計画してつくりあげていく。対等な立場で意見を言い、議論を重ねる。

社会福祉法人グリーンコープのホームページに「抱樸館福岡」の情報があります。ぜひご覧ください。
<http://www.fukushi-greencoop.or.jp/hbk-fukuoka/>



多々良公民館館長の光安さん(写真左)をはじめとする、たくさんの方の出しものがありました



地域のサークル「おやじーズ」のバンド演奏



建物の外まで、集まった人たちの笑顔があふれていました



駐車場にも屋台が登場

「抱樸館を支える会」賛助会員募集!

抱樸館を支える会とは、ホームレス者自立支援事業や生活困窮者自立支援施設「抱樸館」の事業を支援し支えることを目的に、2010年4月10日に設立した一般社団法人です。

みなさんの会費が財源となります。市民参加型で抱樸館事業の財政基盤を整え、広く地域に支えあう人のつながりをつくっていきます。

申 込 方 法

毎週の共同購入申込書に口数を記入してください。(何口でも、何回でも申し込みます)

1299 毎週 「抱樸館を支える会」年会費1口1,000円(一括払い)

1300 毎週 「抱樸館を支える会」年会費3,000円(分割払い毎月250円×12回)

※いつでもこの番号で申し込みます。

みんなの真心で抱樸館を支えましょう!!

抱樸館を応援する輪を広げるために、がんばろう抱樸館!「ホームレス エイド コンサートin福岡」が2012年2月14日(火)(18:30開演)、西南学院中学校・高等学校 チャペル(福岡市早良区)にて開催されます。詳しくはNPO法人北九州ホームレス支援機構(TEL093-571-1009)にお問い合わせください。



きずな祭でのファイバーリサイクル市



抱樸館福岡の入居者が、就業に向けての「助走」という位置づけでファイバーリサイクルセンター(福岡市東区多の津)で仕分け作業を行っています。開始に

11月19日の「きずな祭」でのファイバーリサイクル市でも、協力が意欲的に販売しました。12月8日には、福岡市内に「ファイバーリサイクルショップ ゆう*あい」がオープンし、そのスタッフが抱樸館福岡の協力員が活躍しています。雇用創出・就労支援に加え、リサイクルの輪がさらに広がっています。

自立をめざして就労体験

抱樸館福岡の入居者が、就業に向けての「助走」という位置づけでファイバーリサイクルセンター(福岡市東区多の津)で仕分け作業を行っています。開始に

あたつては、JFSA(NPO法人日本ファイバーリサイクル連帯協議会)から、取り組みの意義と仕事内容の説明を受けました。「パキスタンの子どもたちを学校へ」という取り組み趣旨に賛同し、働くことを希望した入居者は協力員となり、交代で作業にあたっています。

9年目の産直びん牛乳 顔の見える関係を実感しました



2011年度タオルとメッセージを贈る取り組み
(non-GMO牛乳生産者女性部会員懇親交歓会)



組合員から集まったタオルの目録を渡すくまもとの古津さん(写真右)

グリーンコープは、母牛の乳房を拭くためのタオルとせっけん、生産者への応援メッセージを毎年組合員が直接生産者に届けています。
2011年12月7日に熊本県菊池市で開催された2011年度タオルとメッセージを贈る取り組み(non-GMO牛乳生産者女性部会員懇親交歓会)で、タオルとメッセージを届け、non-GMO牛乳生産者会の女性部会の皆さんと交流しました。



「お洗濯のしやぼんウォッシュアップ1.5kg」の目録を渡す(島根)の山内さん(写真右)

はじめに組合員を代表して、グリーンコープ生協ひろしまの井上聡子さんが「グリーンコープの牛乳の良さの一つは、パステライズ殺菌であることです。そのため生産者の方々は大変努力されていると聞いています。今日は利用している組合員の思いを伝えて、生産者の気持ちもじっくり受け止めて帰りたいと思います」と挨拶しました。

「酪農ホームステイや交流会を通して、生産者のみなさんとのつながりが、ますます強くなっているのを感じます。来年度も組合員にびん牛乳の利用をすすめていきます」との共同商標品おすすめ委員長 阿部恭子さんの挨拶で午前の部が終了しました。

メーカーの雪印メグミルクの生産管理課長 山本淳さんは「グリーンコープのびん牛乳は、パステライズ殺菌で牛乳本来の味わいがあります。生産者は生乳の細菌数を増やさないように気を配り、メーカーは温度管理や製造環境の衛生面に細心の注意を払い、組合員さんは流通時や家庭での温度管理に気をつけるなど、それぞれの協力で品質が維持されています。びん牛乳になってから8年経ちましたが、この間、品質等はほとんど変わっていません。これは、変える必要がないぐらい、当初から考え方の管理の仕方がしっかりしているからです。しかし、残念ながらここ2、3年、利用量が下降気味です。組合員さんの利用を、さらにお願いしたいと思います」と挨拶しました。



たくさんのメッセージが集まりました

2011年度
from ネグロス・クリスマスキャンペーン
ご協力ありがとうございました
カンパ総額
7,422,273円 (1/11 現在)

の昼食交流会では、5つのテーブルに分かれ、各テーブルで生産者に組合員からのメッセージを手渡ししました。生産者は、毎年のメッセージを楽しみにし、大切に保管しているとのことでした。酪農は生きもの相手の休みのない仕事ですが、忙しい時期と比較的ゆとりのある時期があるので、工夫して自分の時間も作るようにしているなどの話も聞きました。

募集 2012年 シャボン玉月間ポスター (募集要項)

でき上がり寸法: B3(横36cm 縦51cm)
色: カラー(紙、データ(PDF添付)双方可)
必ず入れる文字: (2012年キャッチコピー)
「つながろう 地球にやさしいせっけん」

内容: 「石けんを使う暮らしの提案」、「水環境保全についての提案」など
※裏面に住所、氏名、電話番号、所属生協名を明記する
締切り: 2012年3月9日必着(メールまたは郵送で)
送り先: 所属生協にお届けください
賞金: 3万円(採用作品のみ)

(問い合わせ先)
〒336-0021 さいたま市南区別所5-1-11 生活クラブ生協(埼玉)本部内 協同組合石けん運動連絡会・事務局
TEL・FAX 048-863-7896 E-mail kyosekiren@opal.ocn.ne.jp

子どもたちの未来のために No.42

原発は即刻やめても困らない

甚大な放射能汚染を起こした東京電力福島第一原子力発電所の事故から間もなく1年となります。この事故により、「原発は人が制御することができないものであり、人間と共存できない」ということを多くの人が実感しています。その一方で、大量の電気を消費する社会、資源の乏しい日本には原発は不可欠なもの、そう考える人も少なくありません。

「電気はためておくことができないので、使用のピーク時にあわせて準備しておく必要がある、だから原発は必要だ」と国や電力会社は言います。本当にそうでしょうか。原発は出力調整が難しいため動かし続けなければなりません。そこで発電量の調整をするために多くの火力、水力発電が止められてきました。現在日本にある原発をすべて止めても、火力や水力発電を動かし、風力や太陽光などの自然エネルギーによる発電を上手に利用することで、十分電気をまかなうことができます。それでもピーク時にわずかに不足するのであれば、くらしを工夫することで乗り越えられるのではないのでしょうか。

未来の子どもたちのために、原発のない社会を目指し行動していきましょう。

参考文献: 2009年グリーンコープ共同体「脱原発学習会講演録」小出裕章さん
グリーンコープ共同体組織委員会

言・い・た・い

私の好きなグリーンコープ商品

栄養価の高い豆を手軽に

私のお気に入り商品は「冷凍5色ビーンズ」です。わが家のわんぱく娘は大豆が大好きです。出来合いの煮豆では高くつくので、食べる数日前からお水で戻して大量に煮ます。でも食べたいと思った時に食べてくれるのが難点なのです。

私には「冷凍5色ビーンズ」という強い味方が冷凍庫で待機してくれていて、おらずにお豆があるといういなあと思つた時は彼らの出番です。5色もあり彩りもよく、わんぱく娘も大喜びで、スープにも入れたりと大活躍してくれています。栄養価の高いお豆を手軽にとることができて、育ち盛りの子を持つ母としてもとても大助かりです。

グリーンコープ生協とっとり 野口 一穂

投稿欄

投稿募集中

- わが家のエコ
- 私の好きなグリーンコープ商品

- 400字程度
- メー 毎月末
- 住所・氏名・年齢・TEL・所属生協名を明記して郵送またはFAX、Eメールでお送りください。掲載分には図書カード(500円分)進呈。
- 住所・氏名などの組合員の個人情報は、本紙に掲載の場合のみ使用します。

〒812-8561
福岡市博多区博多駅前1丁目5-1
カーニープレイス博多3F
グリーンコープコミュニケーションワーカーズ連(REN)
「共生の時代」編集部 宛
FAX 092-481-7876
Eメールアドレス rikoho@greencoop.or.jp



組合員と生産者が直接交流して「肥後あか牛」への理解を深め利用を拡大することを目的に、「和牛肥後あか牛・楽しい産直の集い」が開催され、各単協から組合員とその家族255人が参加しました。

阿蘇の草原は千年以上前から人の手をかけて維持されてきました。あか牛も草原の維持に大きく貢献しています。あか牛の放牧で阿蘇の草原が守られ、草原は九州のたくさんの河川の豊かな水がめとっています。私たちは百年、二百年後の

グリーンコープ生協くまもと 組合員開発商品

あか牛 阿蘇草原生ハンバーグをアピール

県央東地域本部 商品検討委員長 矢野 布美子さん

「あか牛草原生ハンバーグ」1パックを食べることで実際に守られる、阿蘇の草原の広さ(10m)をシートを使って表しました

当日朝は雨模様でしたが、あか牛の畜舎を見学するときは雨も止み、かわいいあか牛の子牛を見ることができました。その後のセレモニーで、南阿蘇畜産農協組合長の塚元さんが「肥後あか牛」は、阿蘇の美しい環境とおいしい水と空気の中ですくすくと元気に育った牛です。たくさん食べてほしい出を持って帰ってください」と挨拶しました。

参加者は阿蘇の草原を守るグリーンストック運動についてのDVDを観て、あか牛を利用することが九州の水がめでもある阿蘇の草原を守ることに繋がると、運動への理解を深めました。セレモニーの後には、セリの時に牛をつないでおく屋根付きの広いスペースで生産者と組合員が一緒にあか牛のおいしさを味わいながら交流を深め、お互いに「顔の見える関係」を実感しました。参加者からは「カタログではわからない話を直接生産者から聞くことができ、おもしろかった」「あか牛は赤身が多くてパサパサしているかと思っていたが、やわらかくて、脂がのついているのいい」「生産者と交流すると、『あの人を作っている』と思いが、食べようと思う」「グリーンストック運動にも貢献できるので、あか牛を使ったハンバーグを注文しようと思う」などの感想が出されました。

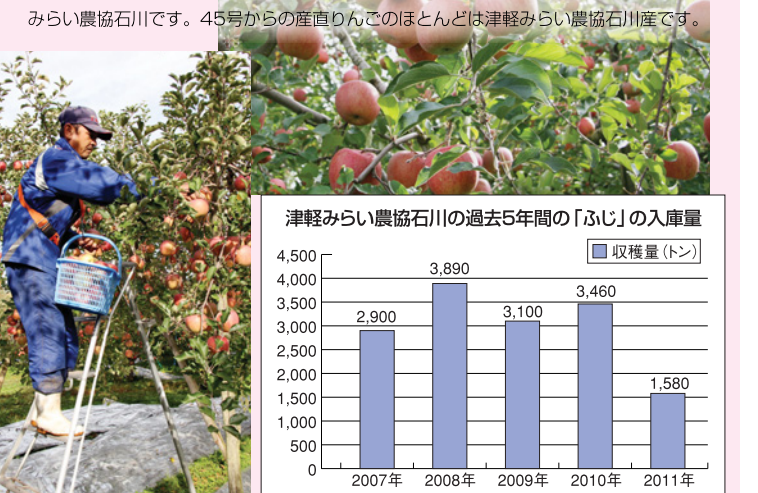
来季はおいしいりんごが届けられるように頑張ります

津軽みらい農協石川 いしかわあつぷるスターズ 会長 工藤 真郁さん

気象条件が一つ二つ悪いくらいなら、長年の技術で乗り切ることができますが、三つ四つと悪い条件が重なり、技術だけではどうにもならず苦勞しています。現在は、雪景色の中、枝の剪定作業を日々進めています。来季はぜひ皆様においしいりんごをお届けできるように頑張りますのでよろしくお願いたします。

りんごを食べて、みんなで生産者を応援しよう!

青森県の産直りんご産地「津軽みらい農協石川」では、天候不順の影響でりんごの収穫量が例年の半分くらいになっています。このままでは生産者の収入が激減し、とても厳しい状況です。生産者がこれからも農薬を減らしたりりんご栽培を続けることができるように、カタログGREEN45号(1月23日～配布)より、「ふじ」「ジョナゴールド」の価格を値上げすることになりました。



今年度のりんごは、一昨年の猛暑の影響で花芽の数が少なくなつた上に、昨春の低温と日照不足による開花遅れがあり、花も小さくて弱い状態でした。その後回復の兆しはありましたが、秋以降も日中の高温と時折の大雨などが繰り返され、熟度があがらず、生果として出荷できるものは例年の半分となつてしまいました。今から20年前の1991年、台風19号でたくさんりんごが落下し収穫量が激減したことがありました(当時、グリーンコープでも「落果りんご」としてご案内しました)。今季は、台風などの天災がなかったにもかかわらず、20年前と同じくらい悪い状況です。天災ではないので、補償などの対象にはなりません。特に減農薬に取り組んでいる生産者グループの収穫量が影響を受けています。近年のりんご栽培では、若い木を本数多く植えて低い位置に実を成らせ畑を管理しやすくする「わい化栽培」という方法が取り入れられ

遅れがあり、花も小さくて弱い状態でした。その後回復の兆しはありましたが、秋以降も日中の高温と時折の大雨などが繰り返され、熟度があがらず、生果として出荷できるものは例年の半分となつてしまいました。今から20年前の1991年、台風19号でたくさんりんごが落下し収穫量が激減したことがありました(当時、グリーンコープでも「落果りんご」としてご案内しました)。今季は、台風などの天災がなかったにもかかわらず、20年前と同じくらい悪い状況です。天災ではないので、補償などの対象にはなりません。特に減農薬に取り組んでいる生産者グループの収穫量が影響を受けています。近年のりんご栽培では、若い木を本数多く植えて低い位置に実を成らせ畑を管理しやすくする「わい化栽培」という方法が取り入れられ

2011年12月の組合員数 395422人 (12/20現在)

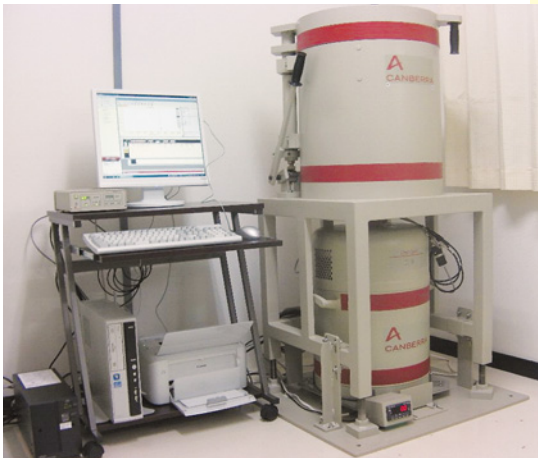
リユースリサイクルデータ 2011年11月分	牛乳びん 回収本数 710,262本 回収率 99.5% (10月16日～11月2日回収分)	フードマイレージ 2009年9月から2011年12月までに組合員の利用によってたまったのは 147,430,316.7 peco CO ₂ に換算して14,743トン削減したことになります
リユースびん 回収本数 158,956本 回収率 60.3%	トレー 回収重量 9,521kg 回収率 45.2%	アジア民衆基金 2009年4月から2011年12月までに組合員の利用によってたまったのは 23,702,672円
モールドバック 回収重量 31,480kg 回収率 108.8%	仕分け袋 回収重量 1,560kg 回収率 11.5%	放射能汚染測定結果は、別紙の残留放射能検査結果に掲載しています。

共生の時代

別紙

●発行 グリーンコープ共同体育会
 ●編集 共生の時代・編集部
 〒812-8561 福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
 カーニープレイス博多3階
 ●電話(092)481-7923 ●FAX(092)481-7876
 ●ホームページ: <http://www.greencoop.or.jp/>

放射能汚染と向きあう (放射能測定室より)



導入したゲルマニウム半導体検出器。短い時間でより精度の高い測定が可能になりました

2011年11月18日、2012年1月6日に検査した40品目はすべて検出限界値未満でした。
 グリーンコープはゲルマニウム半導体検出器を導入し、さらに放射能測定室の機能を強化しました。
 2011年10月より、NaIシンチレーションスペクトロメータ2台で放射能検査を行ってきました。放射能汚染の広がりが収束する目途も立たない状況の中で、もっと放射能検査をして欲しいという組合員の要望はますます高まっています。その対応策として、2012年2月、放射能測定を更に強化するためにゲルマニウム半導体検出器を導入しました。
 ゲルマニウム半導体検出器は、これまでのNaIシンチレーション検出器よりも短時間で精密な放射能測定ができます。これまでNaIシンチレーション検出器2台での1日の測定品目数は最大で8〜10検体でしたが、これに加えて約15検体の測定が可能となりました。

東京電力の原子力発電所の事故を受けて行った残留放射能検査結果⑨

※検査法の記号「Ge」はゲルマニウム半導体検出器での測定であることを示しています
 「NaI」はNaIシンチレーションスペクトロメータでの測定であることを示しています

番号	商品名	製造地・生産地	製造日・収穫日等	測定日	検査法 (Ge/NaI)	ヨウ素		セシウム-134		セシウム-137	
						結果 (Bq/kg)	検出限界値 (Bq/kg)	結果 (Bq/kg)	検出限界値 (Bq/kg)	結果 (Bq/kg)	検出限界値 (Bq/kg)
378	北海道産バクバクほっけ	北海道	(原料ほっけ)2011年3~6月 漁獲	2012年 1月 6日	NaI	検出限界値未満	2.42	検出限界値未満	3.88	検出限界値未満	3.78
377	ぬか漬けの素	熊本県熊本市	2011年11月22日 製造	2012年 1月 6日	NaI	検出限界値未満	2.65	検出限界値未満	4.40	検出限界値未満	4.21
376	トマトジュース食塩無添加	長野県長野市	2011年 8月22日 製造	2011年12月29日	NaI	検出限界値未満	2.34	検出限界値未満	3.86	検出限界値未満	3.75
375	玄米餅(切り餅)	山形県西置賜郡	2011年11月 6日 製造	2011年12月27日	NaI	検出限界値未満	2.18	検出限界値未満	3.53	検出限界値未満	3.45
374	黒米餅(切り餅)	山形県西置賜郡	2011年11月24日 製造	2011年12月23日	NaI	検出限界値未満	1.97	検出限界値未満	3.13	検出限界値未満	3.06
373	木頭村 山の湧水	徳島県那賀郡	2011年12月 5日 製造	2011年12月23日	NaI	検出限界値未満	2.90	検出限界値未満	4.71	検出限界値未満	4.63
372	よつ葉スキムミルク	北海道紋別市	2011年10月23日 製造	2011年12月22日	NaI	検出限界値未満	2.77	検出限界値未満	4.77	検出限界値未満	4.54
371	白餅(切り餅)	山形県西置賜郡	2011年11月14日 製造	2011年12月22日	NaI	検出限界値未満	2.09	検出限界値未満	3.38	検出限界値未満	3.29
370	エゴマ餅(切り餅)	山形県西置賜郡	2011年11月 6日 製造	2011年12月22日	NaI	検出限界値未満	1.99	検出限界値未満	3.16	検出限界値未満	3.11
369	エゴマ入り味噌餅(切り餅)	山形県西置賜郡	2011年11月 6日 製造	2011年12月22日	NaI	検出限界値未満	2.04	検出限界値未満	3.26	検出限界値未満	3.18
368	(ギフト)あんこう鍋(肝入り)(あんこう)	北海道全域	(原料あんこう)2011年6~11月 漁獲	2011年12月21日	NaI	検出限界値未満	2.83	検出限界値未満	4.68	検出限界値未満	4.56
367	生クリーム	福岡県大牟田市	2011年12月16日 製造	2011年12月20日	NaI	検出限界値未満	2.26	検出限界値未満	3.63	検出限界値未満	3.55
366	瀬戸内海産なまこ(スライス)	広島県廿日市市	2011年12月18日 製造	2011年12月19日	NaI	検出限界値未満	2.73	検出限界値未満	4.46	検出限界値未満	4.33
365	砂糖味かきもち	熊本県熊本市	2011年11月16日 製造	2011年12月19日	NaI	検出限界値未満	2.13	検出限界値未満	3.37	検出限界値未満	3.30
364	産直豚バラ(矢野畜産)	熊本県熊本市	2011年10月 8日 製造	2011年12月15日	NaI	検出限界値未満	3.99	検出限界値未満	6.45	検出限界値未満	6.25
363	産直びん牛乳バスタライズ	福岡県福岡市	2011年12月12日 製造	2011年12月14日	NaI	検出限界値未満	2.75	検出限界値未満	4.41	検出限界値未満	4.31
362	産直びん牛乳ノンホモ	福岡県福岡市	2011年12月12日 製造	2011年12月14日	NaI	検出限界値未満	2.83	検出限界値未満	4.66	検出限界値未満	4.52
361	元気いっぱいベジタブルスティック	神奈川県横浜	2011年11月29日 製造	2011年12月13日	NaI	検出限界値未満	4.03	検出限界値未満	6.89	検出限界値未満	6.71
360	キビ餅(切り餅)	山形県西置賜郡	2011年11月26.30日 製造	2011年12月12日	NaI	検出限界値未満	2.05	検出限界値未満	3.34	検出限界値未満	3.27
359	魚沼産黄金もち	新潟県新潟市	2011年10月22日 製造	2011年12月12日	NaI	検出限界値未満	2.03	検出限界値未満	3.23	検出限界値未満	3.18
358	越後丸もちシングルパック	新潟県北魚沼郡	2011年11月12日 製造	2011年12月12日	NaI	検出限界値未満	2.21	検出限界値未満	3.61	検出限界値未満	3.51
357	包装饅頭	愛知県知多市	2011年10月 製造	2011年12月12日	NaI	検出限界値未満	1.97	検出限界値未満	3.11	検出限界値未満	3.02
356	国内産わかめ	宮城県、岩手県	(原料わかめ)2010年3月 収穫	2011年12月 9日	NaI	検出限界値未満	2.13	検出限界値未満	3.60	検出限界値未満	3.50
355	産直赤とんぼA洗米のひかり[白米](佐賀県農業研究会)	佐賀県杵島郡	2011年10月16日 収穫	2011年12月 9日	NaI	検出限界値未満	2.36	検出限界値未満	3.82	検出限界値未満	3.71
354	産直赤とんぼA夢つし[白米](田川農協赤村)	福岡県田川郡	2011年9月12~15日 収穫	2011年12月 9日	NaI	検出限界値未満	2.24	検出限界値未満	3.62	検出限界値未満	3.53
353	生もち	山形県東置賜郡	2011年11月28日 製造	2011年12月 9日	NaI	検出限界値未満	2.29	検出限界値未満	3.70	検出限界値未満	3.64
352	産直赤とんぼA洗米のひかり[白米](菊川農協)	山口県下関市	2011年10月 1日 収穫	2011年12月 8日	NaI	検出限界値未満	2.40	検出限界値未満	3.96	検出限界値未満	3.85
351	産直赤とんぼA洗米のひかり[白米](北さつま農協伊佐支所)	鹿児島県伊佐市	2011年10月20日 収穫	2011年12月 8日	NaI	検出限界値未満	2.42	検出限界値未満	3.99	検出限界値未満	3.87
350	産直赤とんぼA洗米のひかり[白米](西いづみ農協)	島根県鹿足郡	2011年 9月10日 収穫	2011年12月 8日	NaI	検出限界値未満	2.29	検出限界値未満	3.62	検出限界値未満	3.55
349	産直赤とんぼB洗米のひかり[白米](福岡農協)	福岡県飯塚市	2011年 8月24日 収穫	2011年12月 8日	NaI	検出限界値未満	2.35	検出限界値未満	3.79	検出限界値未満	3.71
348	三陸産カットわかめ	宮城県	(原料わかめ)2010年3月 収穫	2011年12月 7日	NaI	検出限界値未満	2.34	検出限界値未満	3.96	検出限界値未満	3.83
347	正月用冷凍もち	福岡県久留米市	2011年11月15日 製造	2011年12月 7日	NaI	検出限界値未満	2.10	検出限界値未満	3.35	検出限界値未満	3.28
346	産直赤とんぼA洗米のひかり[白米](肥後七草会)	熊本県宇城市	2011年10月 4日 収穫	2011年12月 7日	NaI	検出限界値未満	2.37	検出限界値未満	3.90	検出限界値未満	3.78
345	産直赤とんぼA洗米のひかり[白米](かごしま合鴨クラブ)	鹿児島県鹿児島市	2011年10月 9日 収穫	2011年12月 7日	NaI	検出限界値未満	2.37	検出限界値未満	3.82	検出限界値未満	3.70
344	産直赤とんぼA洗米のひかり[白米](きたそらち農協北屯)	北海道雨竜郡	2011年10月 3日 収穫	2011年12月 6日	NaI	検出限界値未満	2.38	検出限界値未満	3.84	検出限界値未満	3.75
343	産直赤米[五分づき](糸島赤米プロジェクト)	福岡県糸島市	2011年11月11日 収穫	2011年12月 5日	NaI	検出限界値未満	2.47	検出限界値未満	4.07	検出限界値未満	3.94
342	産直赤とんぼA夢つし[白米](にじ農協赤とんぼ田主丸)	福岡県久留米市	2011年 9月25~29日 収穫	2011年12月 5日	NaI	検出限界値未満	2.39	検出限界値未満	3.85	検出限界値未満	3.75
341	産直赤とんぼA夢つし[白米](柳川農協)	福岡県柳川市	2011年 9月20~30日 収穫	2011年12月 2日	NaI	検出限界値未満	2.43	検出限界値未満	3.93	検出限界値未満	3.81
340	産直赤とんぼA洗米のひかり[白米](六日市合鴨水稲会)	島根県鹿足郡	2011年 9月24日 収穫	2011年12月 2日	NaI	検出限界値未満	2.43	検出限界値未満	4.01	検出限界値未満	3.90
339	産直赤とんぼA洗米のひかり[白米](福岡農協)	福岡県久留米市	2011年10月24日 収穫	2011年11月18日	NaI	検出限界値未満	2.48	検出限界値未満	3.99	検出限界値未満	3.88

検査結果については、ホームページでも週に一度のペースでお知らせします。表記についてもホームページと同様にしています

検査対象エリア グリーンコープは、商品や原料について放射能汚染が心配される地域を、関東から東北地方と考えています。文部科学省から出されている(新聞で報道されている)大気中の「環境放射能水準調査結果」を基に、通常レベルより高いエリアについても検査対象としています。なお、対象エリア以外の商品でも、牛乳など日常的に多く摂取する商品及び雑穀など放射性物質を蓄積しやすい商品は検査することになっています。また、水産物については、近隣海域の放射能汚染状況が調査・公表されています。その情報などを基に漁獲海域によって放射能検査をする対象を判断していきます。

検査対象 2011年3月11日以降に、生産・製造・保管されていた商品及び原料を順次検査しています。定期的なサイクルで検査を行えるよう年間計画を立てて検査します。

検査機関 2011年10月よりグリーンコープ放射能測定室(福岡市)で検査を開始しました。ただし、グリーンコープ放射能測定室で検査可能な品目数を超えた場合などは、これまでと同様に外部機関に検査を委託することもあります。

検査日 検体を測定した日を記入しています。

検査結果の表記 ヨウ素とセシウム134、セシウム137の3種類について結果をお知らせします。
 ※これまで検出限界値未満の測定結果については「検出せず」と表記してきました。検出限界値未満とは、放射能は0ではなく、放射能は存在する可能性があるということです。厚生労働省からも9月29日付で、検出限界値未満の結果については、測定によって得られた検出限界値を表示するよう通知が出されており、国や自治体から公表される検査結果には、「不検出」や「検出せず」ではなく、検出限界値が表示されるようになりました。

シリーズ(5)
被災地復興の今

厳しい寒さの被災地に 元気を届けました

被災地では仮設住宅の断熱工事も遅れ、延長されていた雇用保険の失業給付が切れ、就職先がないなど今後の生活が心配される状況です。そのような中、少しでも元気に新年を迎えられるようにと年末年始企画を行いました。



積雪の中で物資を運ぶグリーンコープのトラック

クリスマス企画ではグリーンコープの取引先の会（グリーンクラブ）から提供された飾り鏡餅や餅を宮城県の女川、雄勝、牡鹿、巨理、山元、岩手県大船渡エリアへ配布しました。また、提供された物資で福袋を準備し、仮設住宅や被災住宅に届けています。

被災地の皆さんからは「どうにか新しい年を迎えることができます」「皆さんの支援のおかげで新年を迎えることができました」とお礼の言葉をいただきました。

福祉ワーカーの支援を楽しみにされている

社会福祉法人グリーンコープの取り組み



介護老人保健施設「アルカディアウエル」は山元町の高台にあるため津波被害は受けなかったが、職員スタッフの減少や入所者の増加で大変な状況。応援するために福祉ワーカーが週2人支援に入っている。入所者の皆さんには遠い九州から来てくれることだけで感謝されている



クリスマス企画

巨理町は全国でも有数のイチゴの産地だったが、ほとんどが壊滅状態。その中で一部復興された丸子農園で立派なイチゴができ、そのイチゴを使って石巻で被災されたケーキ店「エクレール」でクリスマスケーキを作ってもらい、被災地の皆さんに届けた



ボランティアのメンバーがサンタの衣装で被災地の仮設や被災住宅を回り、クリスマスケーキを届けた。子どもからおばあちゃんまで喜んでいただけ



「エクレール」は2階の天井まで津波が入り壊滅状態だったが、この地で復興した。ご主人が被災地の子どもへクリスマスケーキを届ける取り組みに快く応えてくれて、心を込めてケーキを作ってくれた



デイサービス「えん」は山元町の沿岸部にあったがすべて流された。海から2kmの経営者の自宅も1m冠水したが、清掃、修復。スタッフはすべて退職したため、ご夫婦で自宅でデイサービスを行っている。福祉ワーカーが週2人支援に入っている



グリーンコープの取引先の化粧品メーカーによる、手や顔のマッサージ、お化粧品などの支援があった。最初は恐る恐るだったが、終わると満面の笑みで、本当に喜んでいただけ



年末年始の配達・配布会のようす

牡鹿エリアの仮設住宅。▶生協の班共同購入のように皆で分けあっている
◀仙台市宮城野区の仮設住宅・みなし仮設住宅対象の冬物物資配布会。驚くほど多くの方が来られ、時間を延長して対応した。物資はまだまだ行き渡っていないことを実感した



女川、牡鹿エリアのようす



女川エリアには多くの浜があるが、途中の道路はまだ復旧していないところがたくさんあり、冬場の凍結でさらに危険な状態



石巻市月の浦では今でも満潮時に冠水し、避難所になっていた高台の民家へは潮が引くのを待って家に入るしかない状態



年末押し迫ってからも断熱材を貼る作業がすすめられていた